
『大原社会問題研究所雑誌』 2012年度総目次

- (1) 2011年度の総目次は、2012年4月号 (No.642) を参照されたい。
- (2) 2010年度の総目次は、2011年4月号 (No.630) を参照されたい。
- (3) 2009年度の総目次は、2010年4月号 (No.618) を参照されたい。
- (4) 2008年度の総目次は、2009年3月号 (No.605) を参照されたい。
- (5) 『資料室報』第1号～『大原社会問題研究所雑誌』第599・600号までの総目次については、2008年10・11月号 (No.599・600) を参照されたい。
- (6) なお、大原Webサイト (<http://oisr.org>) でも、バックナンバー総目次を掲載している。さらに、1998年4月号以降については、雑誌本体のオンライン・ジャーナル化、web上での公開を行っている。

【2012年4月号 No.642】

【特集】 コミュニティ・ユニオン研究の新たな動向

コミュニティ・ユニオンの10年 福井祐介

コミュニティ・ユニオンによる「派遣切り」に対する取り組み 児島真爾

メンタルヘルスに関わる労働相談をめぐる困難 橋口昌治

個人加盟組合が行う労働相談が組合加盟に結びつく要因についての数量分析 久世律子・鈴木 玲

書評と紹介 佐久間孝正著『在日コリアンと在英アイリッシュ——オールドカマーと市民としての権利』

宮島 喬

石河康国著『労農派マルクス主義——理論・ひと・歴史』 下山房雄

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』2011年度総目次

月例研究会 『福本和夫著作集』の刊行と「福本イズム」の再検討 高橋彦博

所 報 2011年12月

【2012年5月号 No.643】

【特集】 第24回国際労働問題シンポジウム

持続可能な社会保障をめざして——ILOの戦略と日本の課題

2011年のILO総会について 長谷川真一

第100回ILO総会での社会的保護・社会保障をめぐる議論 山端 浩

政府の立場から 清野晃平

労働者の立場から 中島圭子

使用者の立場から 森田清隆

グローバリズムと地域主義の狭間で——日本の役割 武川正吾

質疑応答

参考資料	社会的保護（社会保障）に関する反復討議についての決議
調査報告	ニュージーランドにおけるエンジニアと労働市場 田中秀樹
書評と紹介	仁平典宏著『「ボランティア」の誕生と終焉——〈贈与のパラドックス〉の知識社会学』 山岡義典 横関至著『農民運動指導者の戦中・戦後——杉山元治郎・平野力三と労農派』 山本公徳 樋口篤三遺稿集『革命家・労働運動家列伝』（第1巻）、『オルグ・労働運動・戦略』（第2巻） 五十嵐仁
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
所 報	2012年1月

【2012年6月号 No.644】

【特集】2000年代における公共職業能力開発政策の展開と課題

	なぜジョブ・カード制度に着目するのか——特集にあたって 筒井美紀
	公共職業訓練とジョブ・カード政策——制度の特徴と意義および2010年度までの進捗状況 堀有喜衣
	中小企業の教育訓練と雇用管理に対するジョブ・カード制度の影響——導入企業・受講生に対する調査で得られた知見と考察 櫻井純理
	「事業仕分け」とその後のジョブ・カード制度——公共職業訓練制度のゆくえ 筒井美紀
論 文	介護供給システムからみた介護職員の雇用環境への影響——社会福祉法人の施設運営をとおして 宮本恭子
書評と紹介	呉学殊著『労使関係のフロンティア——労働組合の羅針盤』 熊沢 誠 米澤旦著『労働統合型社会的企業の可能性——障害者就労における社会的包摂へのアプローチ』 山田雅穂

社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会	農民運動史研究の回顧と今後の研究 横関 至
所 報	2012年2月

【2012年7月号 No.645】

論 文	フランス移民労働者政策の転換——2006年移民法と「選別的移民」の含意 宮島 喬 日本の園芸農業と外国人労働者 佐藤 忍 社会福祉分野における当事者主体概念を検証する 西村 愛
翻 訳	東京における“イースト・ロンドン” 高野岩三郎／山本 潔訳・解題
書評と紹介	鎌田とし子著『「貧困」の社会学——労働者階級の状態』 宮本みち子 熊本一規著『脱原発の経済学』 大平佳男 垣田裕介著『地方都市のホームレス——実態と支援策』 畠中 亨
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会	近代日本の児童労働問題——少年職業紹介と製糸工女 榎 一江
所 報	2012年3月

【2012年8月号 No.646】

【特集】子どもの貧困と労働 (1)

- 特集にあたって 原 伸子
児童労働撤廃に向けての国際政策と国際運動——開発アプローチに焦点を当てて 堀内光子
近代日本の児童労働——年少労働者の保護と供給をめぐる 榎 一江
子どもと戦争——日系オランダ人の口述史 江沢あや／川崎暁子訳
論文 1940年代後半における社会党と共産党の共闘——社共共闘により社会党員知事が誕生した長野県を事例として 横関 至
読書ノート 『TEMP・エコノミー』(エリン・ハットン著)——アメリカ労働者派遣産業のマーケティング戦略と「雇用」・「雇用主」概念の転換 関口定一
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 無償労働評価についての研究——無償労働の社会存続における位置の検討に向けて 橋本美由紀
所 報 2012年4月

【2012年9・10月号 No.647・648】

【特集】大震災・原発事故と日本社会

- ポスト3.11(災問期)の社会運動と地域社会の再生 中澤秀雄
原発推進派、反対派の労働組合は何を主張したのか——組合イデオロギーと「世界観」の分析 鈴木 玲
講演 現代社会と移民・マイノリティ研究——日本とヨーロッパを比較して 宮島 喬
論文 肥満が雇用・賃金・生産性に与える影響と体重差別 古郡鞆子
中国の企業間関係に関する一考察——「継続性確保」を中心に 禹 宗杭
調査報告 育児休業取得をめぐる父親の意識とその変化 齋藤早苗
書評と紹介 鶴光太郎他編『非正規雇用改革——日本の働き方をいかに変えるか』 白井邦彦
小林節子著『次世代に語りつぐ生体解剖の記憶——元軍医湯浅謙さんの戦後』 松尾純子
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
法政大学大原社会問題研究所2011年度の歩み
月例研究会 Talking Past Each Other: 70~80年代の原発問題をめぐる労働組合の見解の分析 鈴木 玲
所 報 2012年5・6月

【2012年11月号 No.649】

【特集】子どもの貧困と労働 (2)

- イギリスにおける養育費政策の変容——子どもの貧困対策との関連から 下夷美幸
ドイツにおける子どもの貧困 齋藤純子
福祉国家の変容と子どもの貧困——労働のフレキシビリティとケア 原 伸子
論文 戦間期宮城県における方面委員の特性——履歴書・内申書の分析 小笠原浩太

- 書評と紹介 大谷慎之介著『マルクスのアソシエーション論——未来社会は資本主義のなかに見える』
有井行夫
- 島田顕著『ソ連・コミンテルンとスペイン内戦』 栗原浩英
- 大山博著『福祉政策の形成と国家の役割——プラクティカルな政策を目指して』 宮内良樹
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 月例研究会 『青鞥』の「墮胎論争」から見た〈母性〉——近刊叢書所収拙稿を中心に 松尾純子
- 所 報 2012年7月

【2012年12月号 No.650】

【特集】女性労働の高度成長期

- 女性労働の高度成長期——問題提起と調査事例の位置づけ 木本喜美子・中澤高志
- 戦後織物業における女性労働と労務管理 勝俣達也
- 織物女工の就業と家族経験——近代家族規範の検討 木本喜美子
- ニット製造業の地域労働市場と女性のライフコース——職歴を中心に 中澤高志
- 証言：戦後社会党史・総評史 構造改革論再考——加藤宣幸氏に聞く（上）
- 書評と紹介 Yoonyong Lee, *Militants or Partisans: Labor Unions and Democratic Politics in Korea and Taiwan*
鈴木 玲

- アンドルー・ゴードン著／二村一夫訳『日本労使関係史 1853 - 2010』 金子良事
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 月例研究会 植民地時期における朝鮮と大原社会問題研究所の関係に関する試論的検討——1920・30年代を中心
心に 蔡 貫植
- 所 報 2012年8月

【2013年1月号 No.651】

【特集】1950年前後の学生運動——北大・東大・早大

- 特集にあたって 手島繁一
- 1950年前後の北大の学生運動——その位置と意義を再考する 中野徹三
- イールズ闘争とレッド・ページ反対闘争——1950年前後の学生運動、回顧と分析 岡田裕之
- 『早稲田1950年』における大衆的學生運動の記録 吉田嘉清・高橋彦博
- 論 文 両親の時間使用変化に関する日韓比較研究 尹 子英・安 周永
- 書評と紹介 神吉知郁子著『最低賃金と最低生活保障の法規制』 富江直子
- Jane Humphries, *Childhood and Child Labour in the British Industrial Revolution* 原 伸子
- 福澤直樹著『ドイツ社会保険史——社会国家の形成と展開』 栢田大知彦
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 月例研究会 アレグザンダー公共圏論の検討——公共圏の文化社会学を目指して 兼子 論
- 所 報 2012年9月

【2013年2月号 No.652】

【特集】 繊維中小企業における技能継承と人材育成——岡山県倉敷市を中心に

特集にあたって 相田利雄

繊維産業政策の変遷——繊維工業から繊維・ファッション産業へ 高橋 啓

産地型産業集積における中小企業の自立可能性——繊維産業における商業資本の役割変化をめぐって

永田 瞬

繊維産業における技能継承と人材育成をめぐる課題 江頭説子

論文 日本における縫製業と外国人労働者 佐藤 忍

証言：戦後社会党史・総評史 構造改革論再考——加藤宣幸氏に聞く（下）

書評と紹介 遠藤公嗣編著『個人加盟ユニオンと労働NPO——排除された労働者の権利擁護』 呉 学殊

大門正克編著『新生活運動と日本の戦後——敗戦から1970年代』 榎 一江

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 公的年金の世代間格差論における「保険原理」 畠中 亨

所 報 2012年10月

【2013年3月号 No.653】

【特集】 1950年前後の関西の学生運動——京大

平和を追い求めた青春——「総合原爆展」と「京大天皇事件」 小畑哲雄

青春の悔恨と学問への道 望田幸男

論文 移住家事・ケア労働者とその非可視性——2000年代後半のイタリアの事例から 宮崎理枝

証言：日本の社会運動 戦時抵抗と政治犯の釈放——岩田英一氏に聞く（1） 吉田健二

書評と紹介 鈴木和雄著『接客サービスの労働過程論』 富沢賢治

清水敦・櫻井毅編著『ヴィクトリア時代におけるフェミニズムの勃興と経済学』 久場嬉子

松本善明著『謀略——再び歴史の舞台に登場する松川事件』 五十嵐 仁

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 福島県におけるエネルギー政策と災害政策・復興に向けたエネルギー事業の課題について

大平佳男

所 報 2012年11月